

小学校給食費の無償化、全員制の中学校給食の実施、オーガニック給食の拡大を 約7000名の署名を提出

6月5日、学校給食無償化を求める「学校給食無償化を求める名古屋市民の会」(小久保広海代表)は5日、小学校給食費の無償化を求める7071人分の署名を提出し、市教委に要請しました。日本共産党名古屋市議団も同席しました。



4月の市議選で
給食無償化、無料化を
公約した議員

共産	3人
自民	8人
民主	9人
公明	3人
減税	1人
合計	24人

選挙公報より、共産党市議団調べ

名古屋市では、低所得世帯の給食費を援助する所得就学援助制度を今年度から拡充したものの、全員対象の無償化について河村市長は「全部タダにすると金持ち優遇になる」(3月2日市議会本会議)と主張するなど、市民の願いに背を向けています。

懇談では、「就学援助を申請することに抵抗感がある人は多い。全員無償にしてほしい」「中学校1年生と小学校3年生の子がいます。物価高騰で家計が大変。就学援助を申請したけど、所得が少し基準を上回ったため認められなかった。夏になり体育の水着を買うのにも5、6千円かかる。義務教育なのにお金がかかるのはおかしい。せめて給食だけでも無償にしてほしい」と訴えました。

対応した、市教育委員会の水谷章一学校保健課長は「教育委員会としては、学校給食の無償化は金持ち優遇とは考えていない。憲法では義務教育は無償としている。今日いただいたご意見を参考にしたい」と話しました。



**学校給食の無料化・保護者負担軽減
認知限内で24自治体に**

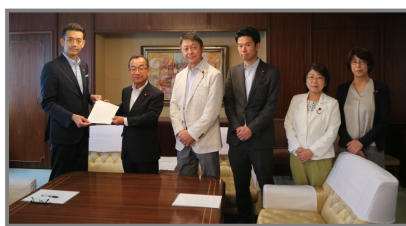
無償化(2自治体)
豊田(2023年4月から恒久化)

補助(22自治体)
豊田(4月～9月半年間補助)、碧南市(4月～6月を無償)、津島市(国庫費も含めて半年補助、今年度は無償)、東海市(第三子以降を無償)、9月から完全無償化)、岩倉市(第三子以降を無償)、豊田市(愛西市、あま市、長久手市、碧南市、犬山市(のち、中3を無償化)、小牧市(第二子以降中学校給食を無償化、2023年2学期から恒久化)、みよし市、清洲町、東郷町、丸岡町(半額補助)、大府町(無償)、扶桑町(第三子以降を無償化)、設楽町、東栄町(半額補助)

新たな動き

- 清洲市 6月から3か月(679=小中 678=保育園等の通園施設 給食無料)
- 津島市 7月から来年3月までの中学校給食と保育園等給食を無償化
給食費半額補助、(幼稚園給食の給食費半額半額半額)
- 清洲市 9月から3か月間 小中学校給食費を無償化
- 岩倉市 小中学校で無償化(9月から開始なし)
- 刈谷市 小中学校で無償化(7月から12月まで)
- 碧南市 小中学校で無償化(9月10月の2か月間)+公立保育園主費も無料に
- あま市 5か月無償 23年9月から

議会運営委員会への少数会派の参加に関する申し入れ



日本共産党名古屋市議員団は6月5日、名古屋元気と夢の会・日本維新の会名古屋市議員団とともに、成田たかゆき議長に「議会運営委員会への少数会派の参加に関する申し入れ」を行いました。

名古屋市議会の「議会運営委員会運営要綱」では、議会運営委員会の委員は、「5人以上の所属議員を有する団体」もしくは「他会派のすべてが会派と認めるもの」から選任するとしており、少数会派(非交渉会派)の参加は保障されていません。申し入れでは、所属議員5人未満の少数会派(非交渉会派)の議会運営委員会への出席と発言を認めることを求めました。